

## 【県高校総合体育大会・総合文化祭に向けて】

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ世界的にスポーツイベントが延期または中止となりました。また国内では、高校生のスポーツ大会や文化的行事の一部においても大きな影響を及ぼし、これらに出場を目指していた多くの人たちが涙を呑み、辛い経験だけが残る結果となりました。しかしこの間に、多くの関係者の努力により感染症対策の策定が進み、安心・安全な大会の開催に向けて様々な取り組みが今日まで続けられています。

高校総体・総文に参加する生徒の皆さんは、様々な思いを巡らせていることと思います。皆さんが仲間とともに乗り越えてきた時間は決して無駄なものではなく、今後の人生における糧となるに違いありません。

ほとんどの3年生がこの大会で引退となりますが、これまで支えてくれた家族や仲間、顧問の先生への感謝の気持ちを忘れないでください。また、多くの競技が無観客試合となるため、応援に行けない人たちの思いも忘れないよう、今できることを精一杯頑張ってください。教頭 島畑博之

## 【かなざわ食マネジメント専門職大学と連携】



すでに報道などで周知されていることですが、5月18日（火）に「かなざわ食マネジメント専門職大学」との高大連携調印式が、大学の白山キャンパスにて執り行われました。今後は出張模擬授業などの取り組みを通して、本校生徒と大学生が交流を図りながら社会で必要となる「チカラ」を共に育む教育を行っていきます。

## 【総体・総文激励会】

今年度の激励会は「密」を避けるため、体育館と教室に分かれて行われました。校長、生徒会長、各部活動の部長さんが事前に撮影したビデオを通して、大会への抱負や意気込みを語ってくれました。



## 【1学期中間考査を終えて】

### （1年進路担当より）

初めての中間考査の結果を、みなさんはどのように分析していますか？ 高校では「授業がわかる」と「テストで点数がとれる」は必ずしも同じとは言いきれません。授業の内容を確実に身に付けるためには日頃の復習（練習）が必要です。このことを心掛けて、毎日の学習に取り組むことが大切です。

### （2年進路担当より）

2年生最初の中間考査は科目数も増え、1年次より負担が大きかったかと思いますが、返却されたものはしっかりと見直しをしてください。その際、表面的な結果だけにとらわれず、どのような力が身に付いたか、今後どのような力を身に付けるべきかを、今一度考えてみる必要があります。

### （3年進路担当より）

3年生になり、進路実現に向けた意識も高まってきているように感じます。授業や定期考査は受験や就職活動と別物ではなく、それらの積み重ねの先に進路実現があります。テストは現在の実力のバロメーターですから、点数に一喜一憂せず、振り返りを行い皆さんの目標を達成するための材料にしてください。